

動脈産業と静脈産業の連携による サーキュラーエコノミーの加速に向けて

- ◆ 我が国におけるサーキュラーエコノミー（CE）については、すでに様々な取り組みがはじまりつつある。廃棄物資源循環学会では、循環経済協調イニシアティブを設置し、学会学術委員会の元に各部会を緩やかに連携し、本テーマに係るセミナーや研修会を今後継続的に開催する予定である。
- ◆ 本セミナーでは、CEに関する最新の取り組み状況を俯瞰するとともに、サーキュラーチェーンに関わる各プレイヤーからみた方向性や課題を共有し、今後の連携に向けた相互理解醸成を図りつつ、3Rと経済的側面・社会的側面を統合し、2050年の循環型社会に向けてどのようにサーキュラーエコノミーを加速していくべきかを考えていく。

日時

2024 / 2 / 6 (火) 13:15~17:30

開催方法

ハイブリッド開催

定員

- ・ WEB Zoom Webinars 定員 300名
- ・ 会場 AP新橋3階 Bルーム 定員 40名(先着順)

参加費

- 正会員 : 3,000 円
- 市民会員 : 3,000 円
- 学生会員 : 3,000 円
- 賛助会員 : 5,000 円
- 公益会員 : 5,000 円
- 非会員(一般) : 10,000 円 ※自治体職員は無料

申込方法

詳しくは学会HPをご覧ください。
URL : <https://jsmcwm.or.jp>

一般社団法人
廃棄物資源循環学会

〒108-0014
東京都港区芝5-1-9 豊前屋ビル5F
TEL: 03-3769-5099
E-mail : jimu@jsmcwm.or.jp



- プログラム -

司会・進行： 埼玉県環境科学国際センター 磯部 友護

13:15	開会挨拶	大迫 政浩 (一社) 廃棄物資源循環学会 会長 (国研) 国立環境研究所 資源循環領域 領域長
13:20	基調講演1	環境省におけるCEに向けた取組み 近藤 亮太 環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室 兼循環型社会推進室 室長
13:20	基調講演2	成長志向型の資源自律経済戦略の実行に向けた取組について 吉川 泰弘 経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課 総括補佐
13:20	基調講演3	(仮) SIPプロジェクトについて 伊藤 耕三 東京大学大学院新領域創成科学研究科 物質系専攻 教授
15:00	休憩 (10分)	
15:10	事例紹介1	(仮) 廃棄物処理業者におけるCEへの取組みと課題 今井 麻美 (株) 富山環境整備 イノベーション事業部 次長
15:10	事例紹介2	(仮) 自治体におけるCEに向けた取組みと課題 尾崎 範子 埼玉県 環境部資源循環推進課 課長
15:10	事例紹介3	(仮) DXを活用したCE戦略 松崎 飛鳥 (株) JEMS サーキュラーエコノミー事業部 部長
16:30	休憩 (10分)	
16:40	総合討議	
ファシリテーター：橋本征二 立命館大学理工学部環境都市工学科 教授		
17:25	閉会挨拶	吉岡 敏明 (一社) 廃棄物資源循環学会 理事 東北大学大学院環境科学研究科 自然共生システム学講座 教授